法人名	株式会社ハピネス（ハピネス中村校）	支援プログラム（参考様式）	更新日	2026 年	5 月	28 日

法人（事業所）理念	経営理念：1. 仕事は楽しく。遊びは全力。　2. 明るく、居心地の良い環境を。　3. 人を敬い、事故を高める。　4. 柔軟性を持ち合わせる。 行動指針：1. すべては子どもたちのために。　2. 子どもたちの可能性を信じる。　3. 保護者のサポートを行う。			
支援方針	○遊びながら学ぶ支援・・「子どもは遊ぶのが仕事」という言葉もあるように、障がいの有無にかかわらず、子どもにとって遊びはとても大事な成長のチャンスです。 ○季節を大切にした療育支援・・四季を感じる療育支援は子どもの成長だけでなく記憶に残る思い出を作るためにも大切です。 ○体育・文化活動の取り組み・・体育活動・創作活動への取り組みをプログラムに積極的に取り入れることによって、ひとりひとりの子どもにあった感性を育むことが可能です。 ○感覚統合療法・・感覚統合療法を取り入れた活動は子どもたちが進んで取り組みたいと思えるような内容のため、楽しみを見つけながら適した支援を行うことが可能になります。 ○個別療育・・それぞれの抱えている課題や特性に配慮した、ひとりひとりにしっかり寄り添った個別支援の実現。			
営業時間	平日：10時～19時　学校休業日（土曜、祝日長期休暇）：9時～18時		送迎実地の有無	あり ・ なし

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得 ・健康的な生活リズムを身に着けるサポート(維持・改善)　睡眠、食事、排泄 ・定期的な心身の把握（毎日の観察・面談、個別活動） ・身だしなみの整え方 ・危機認知スキルの向上(疑似体験・映像・SST)
	運動・感覚	・感覚の特性への対応(特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や制作) リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、いろんな道具の使い方等 ・姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上(専門職員による集団・個別療育) トランポリン、サーキット、マット運動、ビジョントレーニング、コーディネーショントレーニング
	認知・行動	・小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する） ・こだわりや偏食に対応する ・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定(スケジュールや時間の視覚化
	言語 コミュニケーション	・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・読み・書きに対する学習支援 ・コミュニケーション手段の活用(SST・発表する機会の提供・ロールプレイ）
	人間関係 社会性	・小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ ・社会体験や地域交流の場を設ける ・自己理解、他者理解への支援(SST・社会体験・個別療育）

家族支援	・指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じて お子さまの発達状況や支援のニーズの確認 ・お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や 助言を行う	移行支援	・具体的な移行先との調整、相談援助、連携 ・学童クラブ等との交流、地域交流の機会を提供することで、集団への参加 適応する力を養う
地域支援・地域連携	・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・学校や併用利用先との情報共有	職員の質の向上	・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修会への参加
主な行事等	・季節の行事(お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等）　・季節の制作 ・長期休暇には外部講師による、制作や体験、レクレーションの実施 ・月１回のおやつ作り　・学童、高齢者施設連携交流活動		